

推薦の言葉

理学博士 森 裕平

このたび、宿谷直晃先生が、光透波についての本を新たに書きました。著者がこういった努力をしながら、皆様に伝えたいと意図している内容を、推薦したいと思います。

光透波とは、文字の哲学、あるいは言葉の哲学ともいうべきものです。今は亡き小田野早秧先生が、前世紀に膨大な努力の結果発見し、独自の方法で体系化しました。そして、そこから出てくる多様な意味やそれらを導出する方法が、順次解き明かされ、弟子たちに伝えられてきました。それらを応用した内容が、いま宿谷先生の本などにまとめられています。

今の二十一世紀は、いろいろな意味で、人々にとって、生命や万物の根源的などころに意識を向けることが必要な時代です。光透波の方法によると、言葉や文字を分析することによって、万物の根底に存在するもの、それは同時に命の根源でもあるといえるものが、

指し示されてきます。この根底にあるものを、改めて、光透波あるいは命波とも呼びます。

私自身も、かなり前から、すべての根底には何かがあるのかといった問題について、科学的な意味でも哲学的な意味においても興味を持っていました。根底にあるものについて、古今東西における哲学や聖人賢者がいろいろな角度から言及していることを、私も以前から学んでいましたところ、約10年ほど前に、磯部賢一先生を通してこの光透波哲学を知りました。この光透波の方法によると、誰でも、文字やことばを、ある規則を使って分解していくことによって、根源的本質的なものがどのようなものであるかということを引き出すことができることを教わりました。このような方法があつたことに、私も驚いた記憶があります。

また、人間が発する言葉は音であるので、波動であるともいえます。それは命から発せられた言葉であり、命の鼓動が表現されたものであるともいえます。すなわち、命波という呼び名がぴつたりです。言葉は命波が表現されたものとなりますが、同様に考えてみると、万物も、根源的な命の波動が表現されたものと予測されます。

私自身は、長年にわたって、電子の波動関数や分子の振動について、理論計算や数値計算をするような仕事に従事してきました。万物の波動による表現、あるいは波動の形への表現といった意味でも何らかの共通性があることを感じていきます。科学的なことと光透波との関連性についても、私も、もつと深い意味での関連性を追求したいとも思っています。

宿谷先生は、コツコツと地道な努力をしながら、丹念に文字を分析して、みんなに意味を説明していく方です。そこから、導き出される内容が、これからこの本のなかで紹介されていきます。鋭く本質を突くような内容も多ければ、また現代の科学と整合性の良いことが多いことをも感じて、私も感心していました。皆様も、これらの内容を、いろいろな角度から確認しながら学んでいただきたいと願っております。